

NY マーケットレポート (2016年9月5日)

5日の海外外為市場では、安倍首相がG20後の記者会見で「為替相場には、必要なときにはしっかり対応する」と発言したことで、わずかに円安に反応する場面がありました。NY市場が休場だったため、影響は限定的で、その後も狭いレンジ内の動きとなりましたが、気になる点の一つ。安倍首相が日銀の外債購入について言及したことです。「為替介入を目的とした場合には日銀法上、認められていない」と述べましたが、それならば「金融緩和目的なら認められる」との認識を示唆した可能性があるとの解説も出ていました。円高に関する外国メディアの質問に答える中での発言であったようですが、質問にはなかった日銀の外債購入に自ら発言したことで、市場ではいろいろと臆測を呼びそうです。

2016年9月5日(月)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	103.45	103.16	103.44
EUR/JPY	115.61	115.13	115.31
GBP/JPY	138.35	137.41	137.61
AUD/JPY	78.62	78.29	78.45
EUR/USD	1.1183	1.1140	1.1148

東京	高値	安値
USD/JPY	104.14	103.30
EUR/JPY	116.16	115.41
GBP/JPY	138.43	137.36
AUD/JPY	78.90	78.52
EUR/USD	1.1183	1.1153

* 東京時間は5pmまで

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17,037.63	+111.95
ハンセン指数	23,649.55	+382.85
上海総合	3,072.10	+4.75
韓国総合指数	2,060.08	+21.77
豪ASX200	5,429.58	+56.78
インドSENSEX指数	休場	N/A
シンガポールST指数	2,851.74	+47.82

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	休場	N/A
S&P500	休場	N/A
NASDAQ	休場	N/A
英FT100	6,879.42	-15.18
独DAX	10,672.22	-11.60
日経225 (CME)	17,035.00	-95.00
ボエスパ指数	59,566.34	-50.06

9/6 経済指標スケジュール

8:01 【英国】8月 BRC小売売上高[既存店](前年比)(前回:1.1%)
 9:00 【NZ】8月 QV住宅価格(前年比)(前回:14.1%)
 10:30 【豪州】2Q 経常収支-2Q(前回:-208億AUD)
 14:45 【スイス】2Q GDP(前期比)(前回:0.1%)
 14:45 【スイス】2Q GDP(前年比)(前回:0.7%)
 15:00 【ドイツ】7月 製造業受注(前月比)(前回:-0.4%)
 15:00 【ドイツ】7月 製造業受注(前年比)(前回:-3.1%)
 16:15 【スイス】8月 消費者物価指数(前月比)(前回:-0.4%)
 16:15 【スイス】8月 消費者物価指数(前年比)(前回:-0.2%)
 16:15 【スイス】8月 調和消費者物価指数(前月比)(前回:-0.1%)
 16:15 【スイス】8月 調和消費者物価指数(前年比)(前回:-0.5%)
 18:00 【欧州】2Q GDP(前期比)(前回:0.3%)
 18:00 【欧州】2Q GDP(前年比)(前回:1.6%)
 18:30 【南アフリカ】2Q GDP(前期比年率)(前回:-1.2%)
 18:30 【南アフリカ】2Q GDP(前年比)(前回:-0.2%)
 22:45 【米国】8月 総合PMI(前回:51.5)
 22:45 【米国】8月 非製造業PMI(前回:50.9)
 23:00 【米国】9月 IBD/TIPP景気楽観指数(前回:48.4)
 23:00 【米国】8月 ISM非製造業景況指数[総合](前回:55.5)
 23:00 【米国】8月 労働市場情勢指数(前回:1.0)

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	休場	N/A
NY 原油	45.17	+0.73
CME コーン	休場	N/A
CBOT 大豆	休場	N/A

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	-0.048%	-0.005%
英国10年債	0.718%	-0.009%
米2年債	休場	N/A
米5年債	休場	N/A
米10年債	休場	N/A

9/6 主要会議・講演・その他予定

12:45 日本:30年利付国債の入札結果
 13:30 豪中銀政策金利発表

出所:SBILM

NY 市場レポート

19:42

◆《主要ニュース》

G20 首脳宣言

主要 20 国・地域 (G20) 首脳会議は 5 日、世界経済に下方リスクが存在することなどを柱とする首脳宣言を採択し、閉幕した。英国の欧州連合 (EU) 離脱を見据え、G20 が連携を強化することも併せて確認した。=ロイター

- ・「世界経済の回復は継続しているが、下方リスクが存在」
- ・「成長に向け、すべての政策手段を総合的に活用」
- ・「共通の成長目標を支えるため、財政政策を機動的に実施」
- ・「EU の緊密なパートナーであることを希望」
- ・「過度な変動や無秩序な動きは、経済・金融安定に悪影響」

◆《主要ニュース》

ホワイトハウス

- ・「G20 首脳、競争目的での通貨切り下げと為替相場目標を回避することへのコミットを再確認」
- ・「G20、共通の成長目標達成に向け財政政策を含めあらゆる政策ツール活用することをコミット」

20:49

◆《主要ニュース》

- ・「スペインの政権不信任、格付けに悪影響—ムーディーズ」= ロイター

21:30

◆《主要ニュース》

- ・「石油市場の安定へ協カーサウジとロシア合意」=時事

サウジアラビアのファリハ・エネルギー産業鉱物資源相とロシアのノバク・エネルギー相は 5 日、訪問先の中国で会談し、石油市場の安定に向けて協力することで合意した。

22:12

◆《要人発言》

安倍首相=Bloomberg

- ・「為替について必要な時にはしっかりと対応する」
- ・「為替市場の動向を緊張感持って注視」
- ・「為替介入目的の外債購入は日銀法上認められていない」

安倍首相=Bloomberg

- ・「金融政策の具体的手法は日銀に委ねるべきと考えている」
- ・「金融政策について黒田総裁の手腕を信頼している」
- ・「世界経済のリスクに立ち向かうため政策総動員で合意」
- ・「日銀が 2% 目標達成へしっかりとした政策手段を期待」

◆《ドル円見通し》

引続き、先週末の米雇用統計を巡り、米金融当局がどう反応するか、まだ市場では見方が固まっていない。依然として不透明感は強く、市場は必ずしもドル高を見込む取引に積極的ではない 9 月 FOMC での利上げがあるのか、依然として利上げ予想派もいるだけに、今晚の IMS 非製造業景況指数や労働市場情勢指数などを見極める必要がある。それだけに積極的なドル買いが手控えられる一方で、下値を攻めきれないもどかしさもあり、結果的に 103 円台前半から 104 円台前半を中心にした一進一退となりそう。



出所：Net Dania

＜欧州債券市場＞

ユーロ圏債券市場では、総じて国債利回りが横ばいから3ベースポイント低下した。前週末に発表された8月の米雇用者数の伸びが想定を下回ったことで、早期の米利上げ観測が後退したことが要因。

もともとユーロ圏債券の利回りは、足元で小幅上昇の傾向にある。英国の欧州連合(EU)離脱決定直後は大幅低下したものの、その後はじりじりと上昇。独10年債利回りは7月につけた過去最低水準を15bp、フランス、オランダ、フィンランドの10年債利回りも過去最低を7-9bpそれぞれ上回る水準にある。

そのため欧州中央銀行(ECB)が実施する資産買入れ対象の国債不足問題はやや和らいだ。今週開催の理事会でECBが追加緩和を実施する公算は小さいと見られているものの、国債買入れ期間の延長や買入れ資産の不足問題に対処するため規定を変更する可能性はある。



出所：Bloomberg

《欧州株式市場》

週明け5日の欧州株式市場は反落した。ロンドンのFT100指数終値は前週末比15.18ポイント安の6879.42となり、銀行株の一角が大きく売られた。フランクフルトのDAX指数は11.60ポイント安の1万0672.22となり、ユーロ圏の低調な製造業購買担当者指数(PMI)が嫌気された模様。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。